

“2019ひろしまフラワーフェスティバル”のパレードに参加しました
—マリアッチを招聘し、メキシコ選手団受入機運醸成をアピール—

“2019ひろしまフラワーフェスティバル”が広島市の平和大通りをメイン会場として、5月3日から5日までの3日間、今年も晴天に恵まれ開催されました。

3日の初日、開会式直後にスタートする花の総合パレードに昨年に続いて、参加しました。当親善協会が呼びかけ、マツダ本社工場のメキシコ人実習生34名を含む、総勢120名超の参加者が集まり、「オラ！メキシコ」チームとして、東京より招聘した“マリアッチ・グアナファト”を先頭に、横断幕、幟旗を持ち、またメキシコ国旗の手旗を振りながら田中町をスタートし、西平和大橋までの1.2キロの距離を約35分かけて歩きました。

参加者には、キャンプ・メヒコのロゴがプリントされた赤色と緑色のTシャツを配り、またメキシコ衣装やルチャリブレ（プロレス）の覆面を着用する人など、思い思いのスタイルで、楽しんでいただきました。



マリアッチ・グアナファトを先頭に平和大通りを行進する「オラ！メキシコ」チーム



ルチャリブレ（プロレス）の覆面で行進する参加者



メキシコの衣装で行進する参加者

“マリアッチ・グアナファト”によるステージ演奏は、平和公園のメインステージである“カーネーションステージ”での国際交流ステージをはじめ、全5ステージと5月2日の前夜祭や広島県出展の“メキシコ・ハワイ・四川交流広場”でも演奏を行い、東京五輪に向けてのメキシコ選手団受入機運醸成をアピールしました。



マツダ Zoom-Zoom ひろば コスモスステージで演奏する“マリアッチ・グアナファト”

また、マツダ Zoom-Zoom ひろば内での出展が、4回目となります“メキシコ・グアナファト物産展”に今回も協力いたしました。



マツダ Zoom-Zoom ひろば内のメキシコ・グアナファト物産展